

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 5 号
2 0 1 4 年 8 月 7 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 田中 守 殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

新大阪駅ホーム端業務用扉の不具合に関する申し入れ

最近、新大阪駅ホーム端の業務用扉の閉扉不良が続いている。会社はその都度、関係社員への聞き取りを行ない時系列等報告書を強要しているが、その後も閉扉不良の事象はいつこうになくなっていない。

職場では社員に対し、セキュリティ強化として「基本動作の励行」を指導しているが、社員だけの基本動作だけではセキュリティは守れない。組合側の調査によると、扉のドアノブ、テンキーなどドア自体の故障が考えられる。

よって、下記の通り申し入れるので、労使協議の場を設定すること。

記

1. 新大阪駅ホーム端の扉の閉扉不良の実態について、今年に入ってから状況を明らかにすること。
2. 現在、社員へ指導している内容を明らかにすること。
3. 扉の閉扉不良について、会社が把握している原因を明らかにすること。
4. 新大阪駅ホーム扉は J R 社員だけでなく、清掃会社等、関連社員など多くの関係者が出入りする。ホーム端の扉を利用する一日の社員数、扉を扱う回数をホーム毎のデータを明らかにすること。
5. 閉扉不良が発生した際に社員に聞き取りを行ってきている。事情聴取を行った後に会社は当該の扉の状況調査など行ってきたのか明らかにすること。
6. 新大阪駅ホーム端の業務用扉の交換等、抜本的な修理が必要と考えられる。会社としての見解を明らかにすること。

以上